

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 クリーン健康社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・環境省が通知している「廃棄物処理事業における労働安全衛生対策の強化について」の内容を全社員に発信し、安全衛生の重要性を周知している。			3						8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」を理解し、運営している。 ・社員は全て正社員として雇用している(但し定年後再雇用者は除く)。 ・定年後再雇用者には、責任の程度・業務内容に応じた適正な賃金を設定している。					5.5				8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間を管理し、極力残業なしで済むように全社員で相互協力している。 ・業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、地域活動への積極的参画などの環境を整えている。			3		5.5				8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や研修費・旅費等の必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を推奨している。				4	5.5				8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・毎日の朝礼時に事故防止等の注意喚起を行っている。 ・健康診断や破傷風予防接種を行っている。			3						8											17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種・性別などの違いによる差別的待遇は無い。 ・今後の外国人雇用のために、海外出身者を雇用している(外国人の方が活躍できるよう)。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・マスクを社員に配布し、消毒、検温等を実施している。また、必要に応じ、抗原検査キットを配布している。 ・社員が集まる場所や、ごみ収集車両は窓開け換気を行っている。 ・ウェブ会議で済むものは、極力ウェブ会議にしている。			3						8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・タブレットを配布し、業務効率化を推進している。 ・管理システムやソフトを積極的に導入し、業務改革に取り組んでいる。									8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・【予定】熊本県の2022年度プライト企業に申請する予定			3	4					8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 クリーン健康社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の適正で確実な管理・処理を日々行っている。 ・環境汚染防止のため水質検査や悪臭検査を自主的にしている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出し、使用量抑制に努めている。 ・事務所・休憩所の照明は全てLEDにし、場内処理施設照明もLED化を進めている。							7.3							13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてCO2排出量を算出し、排出量抑制に努めている。 ・ごみ収集車のアイドリングストップ車の導入や場内施設での電力抑制に努めている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・花壇の整備や、自社敷地境界の土手の整備などを行い、植物の生育を促進している。 ・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋の使用削減に努めている。						6.6									14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進し、極力ペーパーレス化に努め、裏紙の利用を促進している。 ・顧客(排出者)より処理依頼された資源ごみは極力リサイクルするよう処理を行っている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水や汚水等の適正処理等を実施している。 ・特に洗車での水使用量を削減するための洗車方法を周知している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.a						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用を推進しており、極力環境に配慮した製品の購入に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・顧客(排出者)に対し食品廃棄物の削減を啓発(ごみ処理費はごみ排出量に応じて算出しており、食品廃棄物が減少すればその分処理費軽減になる旨を伝え、ロスを削減してもらえよう)している。 ・食事会等では食べ残しをしないよう社員に啓発している。		1	2				6.4							12.3		14	15			17		
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・花壇の整備や、自社敷地境界の土手の整備などを行い、緑の創出と保全に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・木材利用を推進している(熊本県産の木材を使用し、倉庫等を建設している)。							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋の使用削減(エコバックの推進)に努めている。													12.2 12.5			14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2		

